

All is vanity.

虚無と孤独の画家 —— 山本弘の芸術

2023.9.9[土]—11.26[日]

東御市梅野記念絵画館 大展示室

休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

開館時間 9:30—17:00 最終入場16:30

入館料 一般800円(団体700円) / 中学生以下無料

※団体割引は15名様以上から ※身障者割引、学校利用減免、減額制度あり



UMENO MEMORIAL MUSEUM OF ART
東御市梅野記念絵画館

流木

All is vanity.

虚無と孤独の画家



窓



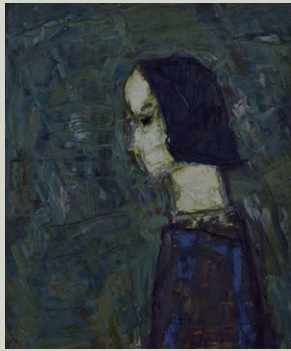
てるてる坊主



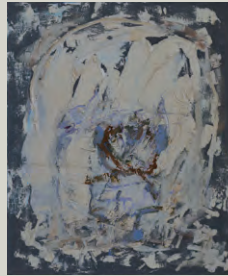
雪の三叉路



夏の子



側



幼



銀杏

山本弘の芸術

信州飯田で生涯の大半を過ごし、51歳で自死した異色画家、山本弘を紹介します。山本弘は、多感な十代を軍国主義から民主化へ急激に移行する戦中、戦後混乱期に過ごし、価値観が逆転した社会のなかで純粋な精神を傷つけられたのか、この頃から自殺を試みるようになります。長野県展の前身である全信州美術展に17歳で入選するなど、地元ではその実力を知られていましたが、過度の飲酒によりアルコール中毒となり、入退院を繰り返した後に縊死しました。晩年、アルコールの過剰摂取が原因で脳血栓となり手足が不自由になった山本弘は、絵具を混ぜずにパレットナイフで描くようになり、作品は奔放なタッチと色彩の美しさが際立ち、強い魅力を放っています。

没後、美術評論家の針生一郎に見い出され、広く国内に知られるようになったこの画家の、公立美術館での単独の回顧展としては初めての開催となります。鑑賞者の眼を意識した絵が氾濫する昨今の美術界のなかで、他者を意識せず自分のためだけに描いたこの作家の孤高の美しさを感じていただければと思います。

トークイベント

絵解き謎解き「山本弘の絵とその人」

曾根原正好氏 × 大竹永明(当館館長)

生前の山本弘と親しく交際し、作家没後は山本弘芸術の顕彰のために奔走され、美術評論家の針生一郎氏の理解と協力へとつなげた「山本弘の弟子」である曾根原正好氏と、当館館長の大竹永明が、山本弘の人と芸術を一時間余にわたってしゃべり尽くします。

日時 9.9[土] 13:30—

会場 梅野記念絵画館ホール

同時開催

東信濃工芸作家展 9.9[土]—10.15[日]

東御市梅野記念絵画館

■ 鉄道等の場合
しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分。

■ お車の場合
上信越道・東部湯の丸IC
から約20分。 [Google Map ▶](#)



東御市梅野記念絵画館・ふれあい館
〒389-0406
長野県東御市八重原935-1
芸術むら公園
TEL:0268-61-6161
FAX:0268-61-6162

